

2017年度

小論文A

(問題)

注意事項

<H29119181>

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
5. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例) 58001番 ⇒

万	千	百	十	一
5	8	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

小論文作成上の注意

1. 解答文は、所定の解答用紙におさまるように、日本語で書きなさい。
2. 解答行数が指定された問について、行数は単なる記述量の目安であり厳密な字数制限ではないことから、指定された範囲内に適切な文字の大きさとで解答すること。
3. 解答は横書きとし、楷書で左から右へと書くこと。
4. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
5. 小論文解答用紙は汚したり、折り曲げたり、破ったりしないこと。
6. 下書きは、別に配付の下書き用紙を使用すること。試験終了後、下書き用紙は持ち帰ること。

問題 以下の文章はゼミ活動の一環で銭湯に関する調査をしている学生と教員の会話である。図表を参照しながらこの文章を読み、ゼミ内で使用するスライドと配付資料を作成することを想定して各問に答えなさい。

教員：銭湯は日本の文化を特徴付けるものであるけれども、東京の銭湯の数は誰の目にも減っていることは（ 1 ）だ。

学生A：銭湯の数のデータは1965年以降の分が見つかりました（表1）。

学生B：（ 1 ）に銭湯の数はここ50年近くで減っているね。

教員：銭湯の絶対数が減っていることははっきりしたが、それを利用する（ 2 ）人口も時間とともに変わってきているはずだ。人口を考慮した銭湯の数を求めなくてはならない。

（翌日）

学生A：人口のデータを調べてきました（表2）。

学生B：(1) 人口は増えている区もあれば、減っている区もあるね。

教員：銭湯の数と人口の関係をわかりやすく捉えるにはどうしたらよいか？

学生B：単純に人口を銭湯の数で割ってやれば、1軒の銭湯を利用する人数が求まるから、それで表現すればいい。

教員：それでは銭湯の数が（ 3 ）少ない区ほど人口数が増えてしまうから、かえってわかりにくいかな。その区に利用可能な銭湯が何軒あるかという考え方のほうがわかりやすいのでは？

学生A：人口10万人あたりの病気になる人の数とか、そういう表現ですね。

教員：そうです。今回は10万人では区の人口の推移を説明しづらいから、（ 4 ）人あたりで求めてみよう。

学生B：練馬区の1965年を例にとると、85軒の銭湯をその時の人口約435000人で割って、（ 4 ）人をかければいいですね。すべてを計算してみました（表3）。(2) 6つの区の数値をグラフにすると、人口の時間的推移の増減のパターンと異なる区があることがわかります。

教員：それぞれの区の位置関係を記した地図と比較してみよう（図1）。何か(3) 明確な傾向は見られるかな？

学生A：都心部である千代田区を中心とする見方をすればよいでしょうか。

教員：そうですね。

問1 会話文中（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまる最も適切な用語をそれぞれ一つずつ選んで解答欄にその記号を記しなさい。

（ 1 ） a：絶妙 b：微妙 c：明らか d：不確か

（ 2 ） a：人間の数である b：社会の集約数である c：世界の d：日本の

（ 3 ） a：対照的に b：相対的に c：歴史的に d：確率的に

（ 4 ） a：10 b：100 c：1000 d：10000

問2 会話文の内容と最もよく合致する選択肢を二つ選んで解答欄にその記号を記しなさい。

a：教員は時間的に推移するデータの比較方法を学生たちに適切に指導した。

b：学生Aは消極的にゼミに取り組んでいて、今回も誤ったデータを選んだ。

c：学生Bは教員の質問に答えながらも、その指示にあまり納得していない。

d：データ処理に失敗した学生たちは教員に助言を求めるためゼミに臨んだ。

e：銭湯数の経年変化は人口データとともに分析すると理解しやすくなった。

f：東京都の人口推移は極めて複雑であり、捉えどころのない現象であった。

問3 傍線部1を示すグラフをスライド内の解答欄1に作成しなさい。

問4 傍線部2を示すグラフをスライド内の解答欄2に作成しなさい。

問5 問3～4で作成したグラフから読み取れる特徴を箇条書きで3～5点にまとめ、スライド内の解答欄3に記しなさい。

問6 このスライドに最も適切なタイトルをスライド内の解答欄4に記しなさい。

問7 傍線部3にある図1から観察できる「明確な傾向」を2つとりあげ、その傾向を配付資料の解答欄1aと2aに、それぞれの傾向に関する5行程度の説明を配付資料内の解答欄1bおよび2bに記しなさい。

問8 この調査に関する全体的な説明を配付資料内の解答欄3に10行程度で述べなさい。

表1 1965年以降の東京都内の銭湯数

年	練馬区	江戸川区	足立区	荒川区	台東区	千代田区
1965	85	135	142	94	109	34
1970	-	-	-	-	-	-
1975	88	144	152	89	89	14
1980	-	-	-	-	-	-
1985	83	131	137	86	77	8
1990	77	113	120	81	65	6
1995	63	94	95	68	52	4
2000	49	79	74	59	47	4
2005	41	64	65	46	43	5
2010	35	52	52	38	34	5

表2 1965年以降の東京都内の人口

年	練馬区	江戸川区	足立区	荒川区	台東区	千代田区
1965	434,721	405,139	514,717	278,412	286,324	93,047
1970	527,931	446,758	571,791	247,013	240,769	74,185
1975	559,665	473,656	609,025	217,905	207,649	61,656
1980	564,156	495,231	619,961	198,126	186,048	54,801
1985	587,887	514,812	622,640	190,061	176,804	50,493
1990	618,663	565,939	631,163	184,809	162,969	39,472
1995	635,746	589,414	622,270	176,886	153,918	34,780
2000	658,132	619,953	617,123	180,468	156,325	36,035
2005	692,339	653,944	624,807	191,207	165,186	41,778
2010	716,124	678,967	683,426	203,296	175,928	47,115

※Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。
東京都の統計 住民基本台帳による東京都の世帯と人口トップページ
<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/juuky/jy-index.htm>

表3 (4)人あたりの銭湯の数

年	練馬区	江戸川区	足立区	荒川区	台東区	千代田区
1965	2.0	3.3	2.8	3.4	3.8	3.7
1970	-	-	-	-	-	-
1975	1.6	3.0	2.5	4.1	4.3	2.3
1980	-	-	-	-	-	-
1985	1.4	2.5	2.2	4.5	4.4	1.6
1990	1.2	2.0	1.9	4.4	4.0	1.5
1995	1.0	1.6	1.5	3.8	3.4	1.2
2000	0.7	1.3	1.2	3.3	3.0	1.1
2005	0.6	1.0	1.0	2.4	2.6	1.2
2010	0.5	0.8	0.8	1.9	1.9	1.1



図1 東京都23区の地理的分布

〔以下余白〕

小論文 A 解答用紙

<H29119181>

受験 番号	万	千	百	十	一

氏名	
----	--

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2017年度

小論文 A
(解答用紙)

No. 1 / 1

採 点 欄

--	--

□

□

問1

1	2	3	4

問2

--	--

問3～問6 (スライド)

[illegible]

問7,問8 (配付資料)

配付資料

1a

1b

2a

2b

3